

市議会
議員

木戸あきら

の議員報告

経歴 東羽衣小学校～中央大学法学部卒、商社勤務後、現職、社会福祉法人理事長・大阪ベイエリア NATECH 会員
議員歴 高石市議会議員(4期目)

コロナ禍、並びに豪雨災害、その渦中にある皆様方に心からお見舞い申し上げます

高石市民の皆様、こんにちは。5月15日、令和1年度の 政務活動費 **396,000 円**を**全額返納**しました。

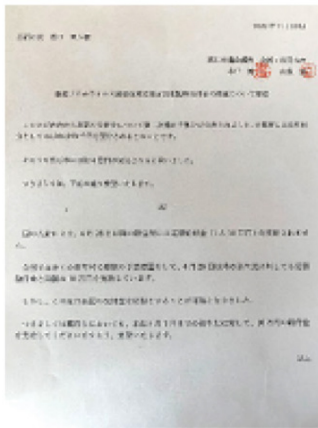
誠にささやかですが
生活に難渋されている
市民に還元してください。

高石市独自の高石市民への
支援策を手厚くしてください。

7月10日、山敷議員と連名で会派
"市民の声"として阪口市長に市民への
支援策を要望しました。

品目	金額	備考
経費	396,000円	
返納金	396,000円	
合計	0円	

年度	所属課	合計	予算区分
令和1年度	総務課	396,000円	一般会費
合計		396,000円	



(会派要望書)

要旨：市民の皆様が受け取られた定額給付金 10 万円の支給対象者に 4 月 28 日以降の新生児は含まれません。他の先進自治体は国に代わって自らの市の財源で当該新生児に対して支給しましたが、残念ながら高石市は支給していません。今般、国会が第二次補正予算で新たに地方創生臨時交付金を設定しましたが、今回、高石市への配分は約 4 億円が見込まれています。会派"市民の声"としては、この 4 億円を利用して 4 月 28 日以降の新生児に対して 10 万円を支給してほしいと要望しました。

私は抗体検査(簡易検査)をしました。結果は IgG(抗体)陰性でした。



過去に感染していなかった可能性が高いことはわかりました。しかし抗体検査を实际やってみて、この簡易の抗体検査では、今まさに感染しているかどうかはわからないのだと改めて実感しました。



(抗体検査:イムノクロマト法)



高石市民の感染者数は 7 月 13 日時点で累計 11 名、そのほとんどが 20、30 代までの方で軽症だと発表されています。若い世代と異なり高齢者感染者の重篤率は 40%とも言われています。軽症の若年市民との接触、あるいは無症候感染者から知らず知らずに感染する恐怖は 64 歳になった私には痛いほどわかります。

6月議会、これら高齢者市民の声を代弁して高石市行政に質問しました。

6月議会報告その1(コロナ対策)



ようやく PCR 検査が充実してきましたが、その PCR 検査の窓口である保健所を国も大阪府も削減してきた歴史があります。以前に高石市役所内にあった保健所の分室も今は閉鎖され、また、その当時泉大津市にあった保健所もなくなりました。では高石市民が、感染したかな?と思ったら、どこへ連絡すればいいのでしょうか?

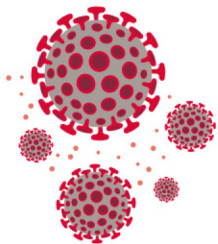
現在は和泉市にある保健所に行かなければなりません。もっとも、第1波の時には、保健所へは電話での受付に限られたようで、事実問い合わせが殺到した時には、医療崩壊になるからとの理由から電話も不通の状況でした。その後同保健所には18人のスタッフが配置されPCR検査を積極的に受け付けているようですが、職員さんも大変な労働量です。そもそも保健所の絶対数が少ないことをどう改善するつもりなのか?高石市には保健所分室があっただけに第1波のあと高石役所は高石市民のためにどんな準備をしてくれたのでしょうか?確認しました。

質問1 「高石市役所内の保健所分室を再度設置してくれるように大阪府に交渉していただけますか?」

中島福祉部長の
返答要旨

「大阪府は、地域外来検査センターを泉州地域に一か所設置すると言われています」

泉州地域に一か所?それでは保健所が近くにない今と市民の手間は同じです。



高石市内のお医者さんに診察してもらいたいと思っても、お医者さんは院内感染をご心配なさいますから診察してもらえないこともあり得えます。そんなとき、高石市役所内に保健所分室があればすぐに相談できます。しかし部長からは、「設置計画は聞いておりません。」との返答だけで大阪府に交渉してくれるのかどうかの返答はありませんでした。

質問2 では、「市立の診療センターにコロナ外来を設けてくれませんか?」

この質問には、阪口市長「保健センターには高齢者施設が併設しています、その方々に感染したらどうしますか?私は設置しません。あなたは特養を経営していらっしゃるがその方の言葉とも思えません。」とお答えになりました。

保健所分室を作るように大阪府に働きかけもしない、また、高石市立の診療センターでコロナ外来も設置しない。ではコロナにかかったかな?と思った高石市民は、どうしたらいいんですか?

実際、コロナかもしれないと保健所に電話した市民の方は、保健所からは「肺炎の診断書をもってきてください」と言われたそうです。肺炎の診断ということはCT検査ができる病院に行く必要があります。

・・・この流れでは、早くても数日がかかるので診断してもらわずに感染していたかどうかもわからず自然治癒された方もいました。これがコロナ感染第1波の時の課題だったはず。

「第2波が来る前に、この課題の対策を練るのが高石市行政の務めではないか!……」と申しましたが、さて聞き入れていただけますでしょうか?

6月議会報告その2(私が思う、「現政権の課題」)

そのほか、6月議会でのやり取りを通じて、現在の高石行政に改めて大きな課題があると思いましたので、以下3点列記します。

高石市行政の 課題(その1)

石油災害を深く想定することは高石行政の義務！ 高石市単独で防災案を作り上げる気があるか？

この6月議会でも「高石市の特徴であるコンビナートの災害、すなわち石油に引火した津波、**津波火災**を想定して対策を打つべきです！」と、私は議会で訴えましたが、



阪口市長は「大阪府が想定していないのだから想定しない」と私の訴えを退けました。

確かに大阪府の地域防災計画には「津波火災」という項目がありません。しかし、だからと言って想定する気があれば想定できるものを想定しないというのは、高石市のリーダとしていかなものかと思います。



岩手県気仙沼市の丸焦げのまち



津波油拡散シミュレーション

「石油タンクを23基持っていた気仙沼市は、東日本大震災の津波で流出した22基の石油タンクに引火し**津波火災**で町が焼失した」と多くの研究者が指摘しています。それで、

宮城県が津波火災を想定していなくても、気仙沼市は津波火災を想定しています。

同じように、大阪府が想定していなくても、高石市として津波火災を想定しないといけません！

なぜなら高石市の臨海部石油コンビナートは気仙沼市のコンビナートよりもはるかに大きいのですから！

気仙沼市消防局員の講演会での講師の言葉を思い出します。

「行政は本当は想定できますよ、でも想定してしまうとその対策を作っておかないといけませんから想定しない風潮がある。これを打破するには、市民から選ばれた市長が英断するしかありません。市民の命は今まで想定していなかった災害を想定することにかかっているんですから。」

自治体の考え方、やる気の度合いが、そこに住む市民に大きく影響します、特に防災については！高石市行政には先頭に立って大阪府並びに国を動かし、高石市民のために大きな予算で臨海工業地帯の防災力を高めてほしいと思います。



高石市行政の 課題(その2)

市民に必要だと思う情報はたとえ今行政ができていない内容でも " 広報たかいし " に掲載しているか？

阪口市長は私にこう返答されました。「石油コンビナートについて防災シンポジウムでも市民に情報提供してきましたよ、何もしてきてないかのような言い方はやめてください！」と。市民への情報提供は、やはり " 広報たかいし " だと思います。そこに石油コンビナート情報が掲載されたことはありません。石油コンビナートにはどんな種類の薬品や化学品石油類がどれくらいあるのか？そして今それらを管理する防災対策はどこまで進んでいるのか？具体的に調査データを市民に公表されたことは一度もないと思います。数年前の三井化学工場の火災事故についても調査報告書くらいは " 広報たかいし " で高石市民全員に知らせるべきだったと思います。



高石市行政の 課題(その3)

GIGA 構想に目を奪われて、 子どものスマホ依存症を軽く見てはいないか？

提言：「高石市立小中学校スマホ管理対策条例」を制定してください。

高石市は、市立小・中学生にタブレットをいきわたらせたいという安倍首相肝いりの政策「GIGA 構想」を採用します。しかし、高石市立中学生の学力調査結果は全国でも大阪府でも下位で、その学力が上がらない理由の一つに、

高石市立中学生のスマホ依存時間が近隣他市に比較して異常に高い という事実があります。

スマホ依存症は今や病気として認定されています。先進自治体である兵庫県、香川県などでは、家庭でのスマホ使用時間を 1 時間にするようにとか、悪質アプリへの接続をスクリーンするようにとご家庭に向けて細かく注意事項を書き込んだ条例を制定させています。高石市は学校から配布するタブレットを家庭に持ち帰ることを許可するそうです。それならば兵庫県や香川県のように家庭での管理に対して高石市もコメントすべきだと申しあげましたが、阪口市長は「家庭にまで干渉できない」と答弁されました。

最後に

会派 " 市民の声 " の活動報告書 **Voice 高石!** のお知らせです。

第 1 回目のテーマは、**信太山浄水場の廃止問題**です。

阪口市長は信太山浄水場を管理する泉北水道企業団の解散手続き議案を 6 月議会に上程してきました。反対した議員は木戸、山敷、明石、松田(敬称略)の 4 名でした。この信太山浄水場で作られる生物ろ過方式の水は大変においしく、高石市内を走る水道には 25%含まれています。私は議員有志と数回にわたって長野県上田市に出向き、信州大学中本名誉教授の講義を受けてきました。中村哲医師がアフガニスタンで灌漑工事に尽力され世界から評価されたように、水については中本先生も世界各国から評価されている方です。中本先生は、訪れた私達議員に明確な理由で信太山の浄水場こそ残すべき浄水場だとおっしゃいました。

予定では次の 9 月議会で、信太山浄水場を運営する泉北水道企業団の法人解散が決まります。イコール信太山浄水場は廃止です。生物ろ過浄水場は高石市の子どものための良質な財産です、一度廃止すると二度と手に入れることはできません。

市民の皆様! 信太山浄水場存続にお力を貸してください!



昨年、中本先生から出来上がったばかりの生物ろ過水をいただく



昨年、長野県上田市の生物ろ過浄水場を視察

市民の皆様、最後までお読みいただきありがとうございました。アフターコロナ、会派市民の声 " 市政報告 " と、木戸晃の " 市民講座 " でまたお会いしましょう!

それまでどうかお元気で!

連絡先 〒592-0003 高石市東羽衣1-5-25 木戸あきら事務所 072-261-7801 (TEL/FAX)

議会関係は、フェイスブックを一番使っています。ご覧ください!

生の議会をご覧ください!

公式サイト **木戸あきら**

検索

<http://kidoakira.com/>

YouTube

高石市議会

検索

YouTube で検索して下さい